

今の自分と未来の自分と

さいたま市教員等資質向上指標 (キャリアnavi) 【管理職】

職種		校長	副校長・教頭
求められる資質		校長	副校長・教頭
さいたま市が求める教師像：「豊かな人間性と社会性」「強い使命感と教育への情熱」「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた常に学び続ける教師	教育に対する情熱	学校教育が担う使命と職責を深く自覚し、情熱をもって職務にあたっている。	
	広い視野・高い識見	社会人としての広い視野と高い識見をもち、教育公務員としての範を体現し続けている。	社会人としての視野と識見を磨き、教育公務員としての範を体現している。
	決断する力	大局的見地から、迅速かつ的確な意思決定を行っている。	校長の意を体して、様々な状況を総合的に把握し、教職員に最善策を示すなど、意思決定を行っている。
	コミュニケーション力 (ファシリテーション能力を含む)	校内外の関係者と積極的に関わるとともに、円滑にコミュニケーションを取れる心理的安全性を確保し、相互作用を促進することで、学校の教育力を最大化している。	校内外の関係者と積極的に関わるとともに、円滑にコミュニケーションを取れる環境を整備し、学校運営改善に向けた相互作用を促進している。
	アセスメント能力	学校教育活動に関わる様々なデータや学校が置かれている内外環境に関する情報について、収集・整理・分析し共有している。	校長の意を体して、学校教育活動に関わる様々なデータや学校が置かれている内外環境に関する情報について、収集・整理・分析し共有している。
	明確なビジョンを示す力	確固たる理念をもち、アセスメントにより把握された現状を基に、具体的な目標と方策を策定するなど、学校経営方針を明確に示している。	校長の示す学校経営方針を深く理解し、全教職員に浸透させている。
	教育の情報化の推進	教育の情報化の重要性・必要性を理解し、校内の推進体制や危機管理体制、教育課程等をマネジメントするなど、学校経営計画等に校内の情報化を位置付けている。	校長の示す学校経営計画における教育の情報化を周知し、浸透させるとともに、校内の情報化の推進体制を整えている。
	教育課程の編成・実施及び評価・改善	児童生徒を取り巻く環境の変化や地域等の状況をとらえ、「社会に開かれた教育課程」の観点も踏まえ、学校経営ビジョンを具現化するための教育課程を編成・実施及び評価・改善し、着実に管理している。	学校経営ビジョンを実現するための教育課程の編成・実施及び評価・改善にあたり、校内組織を活性化させるとともに、教職員に適切な指導・助言をしている。
	校内組織	自校の強みや課題を的確に把握し、それらの伸長、解決のため、教職員の能力や適性を生かした校内組織を構築している。	円滑な学校運営を行うために、教職員の役割や相互の協力体制を明確にし、校内組織を活性化させている。
	人材育成	教職員が能力を発揮できるよう人材育成計画を作成し、受講奨励等を通して教職員の自律的な成長を促す指導・育成を適切に行っている。	教職員の能力や適性を把握し、校長の人材育成計画に基づいて、自律的な成長を促す指導・育成を適切に行っている。
	危機管理	学校におけるあらゆる危機を想定し、それらの未然防止に万全を期するとともに、有事の際には、的確な意思決定と行動が取れるよう絶えず危機管理意識をもっている。	「危機管理対応マニュアル」「児童生徒の心のサポート 手引き」等を基に、校内体制を整えるなど、危機の未然防止・危機発生時及び事後の適切な対応を行っている。
	人事管理	教職員の服務管理を行い、普段から教職員をよく観察し、業務の遂行状況や心身の健康状況等を把握するとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組んでいる。	日頃のコミュニケーションを基に、教職員の業務の進捗状況や心身の健康状況等を把握するとともに、服務規律や勤務時間について、適切な指導・助言をしている。
	児童生徒の管理・指導	児童生徒の学籍、心身の健康及び安全を管理・監督するとともに、教育的ニーズを把握し、児童生徒に適切な支援を行うために、学校外の専門機関を含めたチーム支援体制を構築している。	児童生徒の学籍、心身の健康及び安全を適正に管理するとともに、教育的ニーズを把握し、児童生徒に適切な支援を行うために、学校外の専門機関を含めたチーム支援体制づくりを推進している。
	文書事務等の管理	文書事務、財務、施設に関する管理・監督を、適切に行っている。	文書の管理、施設の管理を徹底するとともに、適切な予算の執行・管理を計画的に行っている。
連携・協働	校内外の関係者へ適切な情報発信及び学校経営への参画を促進し、学校経営ビジョンの共有を通じて、一体的・効果的なネットワークを構築し、連携・協働している。	構築したネットワークを活用し、校内外の関係者の状況や立場を踏まえながら連絡調整を行い、連携・協働している。	

※副校長に決裁権が与えられた項目については、該当する校長の指標についても求められる資質とする。